

■商品売買に関する問題 解説

問 1

〔資料〕について

商品の前期繰越

A 商品 ¥120,000 = 400 個 × @ ¥300

B 商品 ¥ 20,000 = 100 個 × @ ¥200

合 計 ¥140,000

4 月 4 日 (A 商品, B 商品の仕入れ)

(借) 商	品	154,000	(貸) 前	払	金	70,000
			買	掛	金	84,000

A 商品 ¥112,000 = 350 個 × @ ¥320

B 商品 ¥ 42,000 = 200 個 × @ ¥210

合 計 ¥154,000

4 月 7 日

(1) B 商品の仕入返品

(借) 買	掛	金	10,500	(貸) 商	品	10,500
-------	---	---	--------	-------	---	--------

B 商品 ¥10,500 = 50 個 × @ ¥210

(2) A 商品の仕入れ

(借) 商	品	16,000	(貸) 買	掛	金	16,000
-------	---	--------	-------	---	---	--------

A 商品 ¥16,000 = 50 個 × @ ¥320

4 月 10 日 (売掛金の回収)

(借) 当	座	預	金	600,000	(貸) 売	掛	金	600,000
-------	---	---	---	---------	-------	---	---	---------

4 月 11 日 (A 商品, B 商品の売り上げ)

(借)	売	掛	金	300,000	(貸)	売	上	300,000
	発	送	費	6,000		現	金	6,000
	売	上	原	価		商	品	187,500

(1) 売上

A 商品 ¥225,000 = 450 個 × @ ¥500

B 商品 ¥ 75,000 = 250 個 × @ ¥300

合 計 ¥300,000

(2) 売上原価

A 商品 ¥136,000 = 400 個 × @ ¥300 + 50 個 × @ ¥320

B 商品 ¥ 51,500 = 100 個 × @ ¥200 + 150 個 × @ ¥210

合 計 ¥187,500

4 月 12 日 (買掛金の支払い)

(借) 買	掛	金	500,000	(貸) 当	座	預	金	500,000
-------	---	---	---------	-------	---	---	---	---------

4月13日（A商品、B商品の仕入れ）

（借）商	品	200,000	（貸）受	取	手	形	200,000
------	---	---------	------	---	---	---	---------

A商品 ¥170,000 = 500 個 × @ ¥340

B商品 ¥30,000 = 120 個 × @ ¥250

合 計 ¥200,000

4月15日（売掛金の回収）

（借）当	座	預	金	300,000	（貸）売	掛	金	300,000
------	---	---	---	---------	------	---	---	---------

4月19日（A商品、B商品の売り上げ）

(借)	売	掛	金	247,000	(貸)	売	上	247,000
	発	送	費	5,000		現	金	5,000
	売	上	原	価		商	品	154,000

(1)売上

A商品 ¥220,000 = 400 個 × @ ¥550

B商品 ¥27,000 = 100 個 × @ ¥270

合 計 ¥247,000

(2)売上原価

A商品 ¥129,000 = 350 個 × @ ¥320 + 50 個 × @ ¥340

B商品 ¥25,000 = 100 個 × @ ¥250

合 計 ¥154,000

4月20日（買掛金の支払い）

（借）買	掛	金	89,500	（貸）当	座	預	金	89,500
------	---	---	--------	------	---	---	---	--------

買掛金 ¥89,500 = 4月4日 ¥84,000 - 4月7日 ¥10,500 + 4月7日 ¥16,000

4月21日（B商品の売上返品）

(借)	売	上	10,800	(貸)	売	掛	金	10,800
	商	品	10,000		売	上	原	価
								10,000

(1)売上

B商品 ¥10,800 = 40 個 × @ ¥270

(2)売上原価

B商品 ¥10,000 = 40 個 × @ ¥250

4月22日（A商品の仕入れ）

（借）商	品	62,000	（貸）買	掛	金	62,000
------	---	--------	------	---	---	--------

A商品 ¥62,000 = 200 個 × @ ¥310

4月24日（売掛金の回収）

（借）電	子	記	録	債	権	100,000	（貸）売	掛	金	100,000
------	---	---	---	---	---	---------	------	---	---	---------

4月30日（月次決算）

（借） 棚卸減耗損	2,500	（貸） 商品	3,500
商品評価損	1,000	商品	1,000
売上原価	2,500	棚卸減耗損	2,500
売上原価	1,000	商品評価損	1,000

(1) A 商品

帳簿数量 650 個 = 400 個 + 350 個 + 50 個 - 450 個 + 500 個 - 400 個 + 200 個

棚卸減耗損なし = 帳簿数量と実地数量が一致しているため計上なし

商品評価損なし = 取得原価より正味売却価額が上回っているため計上なし

(2) B 商品

帳簿数量 60 個 = 100 個 + 200 個 - 50 個 - 250 個 + 120 個 - 100 個 + 40 個

棚卸減耗損 ¥ 2,500 = (帳簿数量 60 個 - 実地数量 50 個) × @ ¥ 250

商品評価損 ¥ 1,000 = (原価 @ ¥ 250 - 正味売却価額 @ ¥ 230) × 実地数量 50 個

問 2

先入先出法を採用しているため、先に受け入れた商品から払い出して売上原価を計算する。

4 月の純売上高 ¥ 536,200 = 4 月 11 日 ¥ 300,000 + 4 月 19 日 ¥ 247,000 - 4 月 21 日 ¥ 10,800

4 月の売上原価 ¥ 335,000 = 4 月 11 日 ¥ 187,500 + 4 月 19 日 ¥ 154,000 - 4 月 21 日 ¥ 10,000 +
4 月 30 日 ¥ 2,500 + 4 月 30 日 ¥ 1,000

問 3

総平均法を採用した場合のため、月末に払出単価を一括して計算する。商品有高帳の残高欄の単価と金額は、月初と月末だけ記入すればよい。払出単価を計算したあと、払出欄の単価と金額を記入する。

$$\text{払出単価 @ ¥ 320} = \frac{\text{@ ¥ 300} \times 400 \text{ 個} + \text{@ ¥ 320} \times 350 \text{ 個} + \text{@ ¥ 320} \times 50 \text{ 個} + \text{@ ¥ 340} \times 500 \text{ 個} + \text{@ ¥ 310} \times 200 \text{ 個}}{400 \text{ 個} + 350 \text{ 個} + 50 \text{ 個} + 500 \text{ 個} + 200 \text{ 個}}$$

4 月の売上原価 ¥ 272,000 = @ ¥ 320 × (450 個 + 400 個)

4 月の純売上高 ¥ 445,000 = 4 月 11 日 @ ¥ 500 個 × 450 個 + 4 月 19 日 @ ¥ 550 × 400 個

4 月の売上総利益 ¥ 173,000 = 4 月の純売上高 ¥ 445,000 - 4 月の売上原価 ¥ 272,000